

令和3年度 「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報



令和 3 年度
「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

群馬県

例 言

1. 本書は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録年度を起点とし、各年度における出来事や、保存修理、モニタリング結果、普及啓発及び調査研究等の事業の実施状況の概要を年度ごとに記録して冊子としてまとめることで、今後の世界遺産関係事業の実施のための参考とするとともに、本書を公開し、世界遺産を将来の世代に継承するための取組について広く周知することを目的として作成したものである。
2. 本書の編集は、富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町の協力のもと、群馬県地域創生部文化振興課が行った。

—(表紙写真)—

- (左上) 富岡製糸場 糸整理室の公開開始
(右上) 田島弥平旧宅 東門 屋根解体工事
(左下) 高山社跡 屋根解体工事
(右下) 荒船風穴 補修工事後の池

目 次

第1章 令和3年度の主な出来事	
1. 保存修理事業の進展	… 2
2. 世界遺産国際ウェビナーの開催	… 3
第2章 構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況	
1. 主な文化財保存事業の実施状況	… 6
2. 主な現状変更及びき損届一覧	… 10
3. 群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の実施状況	… 14
4. 各構成資産への来訪者数の推移	… 16
5. 周辺整備の状況	… 18
6. 群馬県及び各市町における基金の状況	… 20
7. 調査研究事業の実施状況	… 21
8. 日本遺産・ぐんま絹遺産	… 23
第3章 普及関連事業の実施状況	
1. 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等研究奨励事業「絹ラボ」	… 26
2. 群馬県及び各市町における普及関連事業	… 28
3. 主な民間の活動	… 29
4. 群馬県及び各市町からの発行物一覧、群馬県提供写真利用許諾件数	… 31
第4章 群馬県立世界遺産センターの取組み	
1. 群馬県立世界遺産センターの運営	… 34
2. 普及活動	… 35
3. 学校教育連携事業	… 35
4. 調査研究	… 36
県及び各市町の組織・体制	… 38
利用案内	… 39

第 1 章

令和 3 年度の主な出来事

1. 保存修理事業の進展

(1) 高山社跡

藤岡市では、平成25年3月に策定した「史跡高山社跡整備活用基本計画」に基づき、保存修理や整備活用を計画している。

これまでに焚屋、外便所、長屋門、長屋門前の石垣の修復を実施しており、令和3年度には母屋兼蚕室の修復・補強工事に着手した。事前調査から、建物の老朽化が著しく曳家による半解体工事が困難であることが判明しているため、建物を全解体した後に部材の補修を行い、復原・補強工事を実施する。当該年度には母屋兼蚕室の分解及び痕跡調査を行った。

母屋兼蚕室の修復・補強工事は令和9年度に完了する予定である。

主な工事内容

令和3年度工事に際しては、建物周辺に足場を設置し素屋根を掛けたのち、建物の外壁サイディングと近年の設備を撤去し、続いて家具、建具を運び出した。これらの業務の進捗に応じて、まず屋根部から調査を行いながら分解を開始し、その後壁材、柱材、床材などについても順次着手していった。



足場設置



近年の設備の取り外し



建具を仮置き場に搬出



サイディング撤去



屋根部 解体状況



屋根部 解体状況

2. 世界遺産国際ウェビナーの開催

令和4年1月29日に第2回セカイト講演会・世界遺産国際ウェビナーを実施した。

第1部でかつて日本が世界一の生糸輸出国だった頃、輸出先第1位であったアメリカを取り上げ、松浦利隆氏（群馬県立女子大学群馬学センター教授）、石井寛治氏（群馬県立世界遺産センター名誉顧問、東京大学名誉教授）、David Wittner氏（ユーティカ大学教授）の基調報告、第2部で井上直子氏（城西大学准教授）を加えてのパネルディスカッションを実施した。

新型コロナの感染拡大により、当日の観覧は中止とし、県公式YouTubeチャンネルで動画を配信した。

動画 URL

日本語版	
基調報告 https://youtu.be/Dmvop2HAa7Y	
パネルディスカッション https://youtu.be/Ur0onhKfNPM	

英語版	
基調報告 https://youtu.be/gTm8uW70pSw	
パネルディスカッション https://youtu.be/imwR3xdL0gU	



20世紀初め、日本が世界一の生糸輸出国に成長する頃、最大の輸出先はアメリカでした。今回は、「アメリカへ運んだ日本の生糸」に焦点を当てた国際ウェビナーを開催します。

アメリカと会場をオンラインで接続し、日本の有識者の基調報告、パネルディスカッションによる意見交換を行います。

なお、本ウェビナーは、後日、群馬県公式YouTubeチャンネルから配信します。

第一部 基調報告

① 生糸はアメリカで何をしたのか
講師：松浦 利隆 氏（群馬県立女子大学群馬学センター教授）

② かつて日本における生糸産業の中心地群馬県
講師：石井 寛治 氏（群馬県立世界遺産センター名誉顧問、東京大学名誉教授）

③ 日本の生糸とアメリカの絹産業の成り立ち
講師：David Wittner 氏（ユティカ大学教授）

第二部 パネルディスカッション

テーマ：日本のシルクがアメリカ、そして世界に与えた影響について
パネリスト：石井 寛治 氏、David Wittner 氏、井上 直子 氏（城西大学准教授）
コーディネーター：松浦 利隆 氏

【申込方法】
①「ぐま電子申込受付システム」による申込
有席の枠を超えてから受付システムは閉鎖して、お申し込みできません。
②申し込みは1席につき1名のみとなります。

【申込期間】
令和4年1月29日（水）まで、ただし定員に達し次第、受付終了となります。

【問合せ先】
群馬県地域創生部文化課課長 平 371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
TEL: 027-226-2326 / FAX: 027-243-7785

【注意事項】
- 参加が決定した方には、1週間前までに「参加券（席・座席状態等含む）」を郵送またはメールにて送付します。
- 参加決定の連絡は、担当者の受取連絡である（機）LINEから送付されますので、ご返信ください。
- また、「ぐま電子申込受付システム」から申込をした方は、info@anyjapan.netからのメールを受信できますように、メールの受信設定をお願いします。



パネルディスカッション

チラシ

第 2 章

構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況

1. 主な文化財保存事業の実施状況

令和3年度に各構成資産で行われた主な文化財保存事業については以下のとおりである。

(1) 富岡製糸場

史跡旧富岡製糸場乾燥場他保存整備事業…南乾燥場内の地盤アンカーを19本打設したほか、今後地盤アンカー打設予定場所の土間コンクリートの解体を行った。



削孔状況

(2) 田島弥平旧宅

伊勢崎市では、平成28年3月に策定した「史跡田島弥平旧宅整備基本計画」に基づき、保存修理や整備活用を実施している。東門は文久3年の家相図にも田島弥平家における通用門として記載されており、現在も同様の用途及び見学者用の出入口として利用されている。近年は経年劣化等による損傷に併せ、傾斜が見られたことから安全面を考慮し、整備工事に着手した。令和2年3月に策定した「田島弥平旧宅東門整備実施設計」に基づき、令和3年6月から「史跡田島弥平旧宅東門整備工事」を行った。

令和3年度に行った工事の概要は次のとおりである。

屋根は、下地の腐朽箇所を交換、一部分に杉皮葺きを残して可能な限り既存の瓦を再利用して葺



解体工事（屋根、杉皮撤去）



木工事（木部修理、柱脚部の根接ぎ作業）



筋交い工事施工



棟東部分の墨書「明治三十年 丁酉一月吉辰」

き直した。棟東部分に創建年代を記したものと推定される墨書が確認された。柱脚部は、腐朽箇所に対して根接ぎを行うとともに、耐震性向上のため両側面に対してU字型金具による筋交いを施した。

なお、腐朽の状態が想定より深刻だったことや漆喰の施工時期を寒冷期から避けるため、令和4年3月までと当初予定していた工期を令和4年6月まで延長することとした。

(3) 高山社跡

①母屋兼蚕室修復・補強工事（詳細は第1章1を参照）

平成25年3月に策定した「史跡高山社跡整備活用基本計画」に基づき、令和3年度から母屋兼蚕室の修復・補強工事を開始した。令和3年度の業務として、母屋兼蚕室の分解を行った。



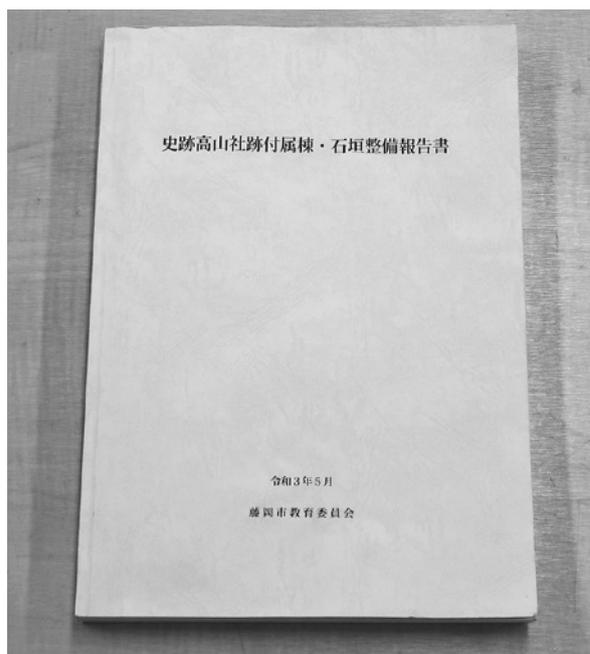
1階部分 部材取り外し

②史跡高山社跡附属棟・石垣整備報告書 刊行

これまでに実施した高山社跡内の焚屋、外便



屋根部 部材取り外し



報告書

所、長屋門、石垣の修復工事について、工事の実施状況及び結果と工事及び痕跡調査・発掘調査などから得られた知見とを記載した総括報告書を刊行した。

(4) 荒船風穴

① 3号風穴はばき石積み落石対策工事

はばき石積みの石材単体の崩落を抑制するため、高耐久 STK ネットで3号風穴北側石積みの全体を覆った。



施行後の3号風穴はばき石積み

② 番舎遺構ゾーンの池の調査及び補修工事

大正時代に構築された池の内部の調査測量を実施し、その成果に基づき補修工事を行った。



補修工事後に注水した池

③支障木伐採

番舎遺構ゾーンの西側のスギ9本と風穴北側の見学路沿いのスギ6本を、見学者の安全確保や景観保全のために伐採した。



見学路沿い伐採後（一部）

④遺構・隣接地岩塊の危険箇所への定点設置、観測（内容は第2章7を参照）

遺構や隣接する岩塊を常時監視し異常を早急に感知するために、平成26年度から定点観測を実施している。令和3年度は5月、8月、11月、2月の4回観測した。

- ・石積みに不具合が生じている場所や、今後施設に影響を与える可能性が高い隣接する岩塊等、25箇所にてータルステーション（TS）による観測点を設置して移動量を観測した。
- ・15箇所にて簡易クラックゲージ（デジタルノギス）により移動量を観測した。うち、3箇所は安全確保のため週1回の計測を実施している。
- ・3号風穴北側石積みの1箇所に伸縮計を設置して観測した。

2. 主な現状変更及びき損届一覧

令和3年度 文化財保護法に基づく現状変更届一覧

※重要文化財は文化財保護法第43条、史跡は同第125条による。

富岡製糸場

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	富岡市長	西置繭所モデルイベント開催	R 3. 4. 12	R 3. 4. 12	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 4. 12～ R 3. 4. 19	R 3. 4. 20
2	富岡市長	鑄用水沈殿槽付近の樹木剪定	R 3. 5. 6	R 3. 5. 6	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 5. 6～ R 3. 5. 31	R 3. 5. 17
3	富岡市長	副蚕場屋根修繕に伴う仮設足場設置	R 3. 5. 21	R 3. 5. 21	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 5. 21～ R 3. 6. 30	R 3. 6. 29
4	富岡市長	検査人館屋根修繕に伴う仮設足場設置	R 3. 5. 24	R 3. 5. 24	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 5. 24～ R 3. 10. 31	R 3. 11. 1
5	富岡市長	福德神社の移動	R 3. 6. 18	R 3. 6. 24	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 6. 18～ R 5. 6. 17	
6	富岡市長	祠の積石補強	R 3. 6. 21	R 3. 6. 21	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 6. 21～ R 3. 7. 31	R 3. 6. 30
7	富岡市長	社宅76シロアリ対策	R 3. 6. 25	R 3. 6. 25	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 6. 25～ R 3. 9. 30	R 3. 7. 19
8	富岡市長	社宅76雨水排水対策	R 3. 6. 28	R 3. 6. 28	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 6. 28～ R 3. 10. 31	R 3. 7. 27
9	富岡市長	東置繭所ガイドツアー集合場所	R 3. 7. 27	R 3. 7. 27	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 7. 27～ R 3. 9. 15	R 3. 9. 6
10	富岡市長	検査人館女子トイレ蛇口自動センサー化	R 3. 7. 27	R 3. 7. 27	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 7. 27～ R 3. 10. 31	R 3. 8. 30
11	富岡市長	首長館南側キッチンカー設営	R 3. 9. 10	R 3. 9. 10	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 8. 4～ R 3. 11. 30	R 3. 11. 30
12	富岡市長	製糸場北西部道路標識更新	R 3. 8. 13	R 3. 8. 13	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 8. 13～ R 3. 9. 30	R 3. 9. 14
13	富岡市長	検査人館所長室天井保護	R 3. 8. 16	R 3. 8. 16	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 8. 16～ R 3. 10. 31	R 3. 10. 11
14	富岡市長	パネル展「渋沢栄一と富岡製糸場」	R 3. 9. 3	R 3. 9. 3	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 9. 3～ R 3. 10. 31	R 3. 10. 29
15	富岡市長	繰糸所フランス式繰糸器設置	R 3. 9. 6	R 3. 9. 6	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 9. 6～ R 5. 9. 5	
16	富岡市長	東置繭所出土品展	R 3. 10. 18	R 3. 10. 18	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 10. 18～ R 3. 11. 30	R 3. 11. 26
17	富岡市長	西置繭所2階照明器具取替足場設置	R 3. 10. 19	R 3. 10. 19	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 10. 19～ R 3. 11. 30	R 3. 11. 4
18	富岡市長	場内 AR クイズ用看板設置	R 3. 11. 4	R 3. 11. 4	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 11. 4～ R 4. 3. 31	R 4. 3. 31
19	富岡市長	パネル展「渋沢栄一と富岡製糸場」	R 3. 11. 15	R 3. 11. 15	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 11. 15～ R 4. 1. 31	R 4. 1. 31
20	富岡市長	煙突煙道補強	R 3. 11. 19	R 3. 11. 19	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 11. 19～ R 3. 12. 31	R 3. 12. 10

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
21	富岡市長	揚返工場外壁修繕及び検査人館土壁補強	R 3.12.7	R 3.12.7	富岡市教育委員会教育長	R 3.12.7～ R 3.12.10	R 3.12.10
22	富岡市長	繭玉飾り	R 3.12.14	R 3.12.14	富岡市教育委員会教育長	R 3.12.14～ R 4.1.16	R 4.1.16
23	富岡市長	糸整理室の公開活用 (外観見学)	R 3.12.16	R 3.12.16	富岡市教育委員会教育長	R 3.12.16～ R 4.3.31	R 4.3.31
24	富岡市長	基礎埋設及び発掘調査 (繭扱場)	R 3.11.5	R 3.12.17	文化庁長官	R 3.12.17～ R 7.3.31	
25	富岡市長	絵手紙公募展開催に伴う会場設営	R 4.1.9	R 4.1.9	富岡市教育委員会教育長	R 4.1.9～ R 4.3.21	R 4.3.21
26	富岡市長	検査人館建具修繕	R 4.2.17	R 4.2.17	富岡市教育委員会教育長	R 4.2.17～ R 4.2.25	R 4.2.25
27	富岡市長	上信電鉄ポスター展示	R 4.3.18	R 4.3.18	富岡市教育委員会教育長	R 4.3.18～ R 4.5.31	R 4.5.5
28	富岡市長	観桜会	R 4.3.22	R 4.3.22	富岡市教育委員会教育長	R 4.3.22～ R 4.4.8	R 4.4.4

田島弥平旧宅

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	伊勢崎市長	井戸上屋の屋根瓦落下防止修繕	R 3.4.16	R 3.4.16	伊勢崎市長	R 3.4.19～ R 3.4.23	R 3.5.12
2	伊勢崎市長	東門整備工事	R 3.3.22	R 3.5.21	文化庁長官	R 3.5.21～ R 4.3.31	
3	伊勢崎市長	東門整備工事の工期延長	R 4.2.15	R 4.3.23	文化庁長官	R 3.5.21～ R 4.6.30	R 4.6.30

高山社跡

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	藤岡市長	石垣修復工事	R 3.4.7	R 3.5.21	文化庁長官	R 3.5.21～ R 4.4.8	R 4.4.8
2	藤岡市長	母屋兼蚕室解体工事	R 3.4.7	R 3.5.21	文化庁長官	R 3.5.21～ R 4.3.31	
3	藤岡市教育委員会教育長	樹木(紅梅)の撤去	R 3.4.19	R 3.4.19	藤岡市教育委員会教育長	R 3.4.19～ R 3.4.23	R 3.4.23
4	藤岡市教育委員会教育長	樹木(柚)の撤去	R 3.5.18	R 3.5.18	藤岡市教育委員会教育長	R 3.5.18～ R 3.5.21	R 3.5.21
5	藤岡市教育委員会教育長	樹木(白梅)の撤去	R 3.9.7	R 3.9.7	藤岡市教育委員会教育長	R 3.9.7～ R 3.9.13	R 3.9.13
6	藤岡市教育委員会教育長	石垣再修復工事に関わるクラックゲージの貼付	R 3.10.13	R 3.10.13	藤岡市教育委員会教育長	R 3.10.13～ R 4.4.8	R 4.4.8

荒船風穴

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	下仁田町長	(1) 番舎遺構ゾーン (斜面地) 整備工事 (2) 番舎の池の調査 (3) 番舎東法対策	R 2. 4. 10	R 2. 5. 22	文化庁長官	R 2. 6. 26~ R 4. 1. 14	R 4. 1. 21
2	下仁田町長	3号風穴はばき石積み落石対策工事	R 3. 3. 11	R 3. 5. 21	文化庁長官	R 3. 7. 20~ R 3. 10. 27	R 4. 1. 12
3	下仁田町長	番舎遺構ゾーンの池補修工事	R 3. 9. 10	R 3. 10. 15	文化庁長官	R 3. 10. 16~ R 4. 1. 14	R 4. 1. 20
4	下仁田町長	支障木の伐採 (スギ15本)	R 3. 12. 23	R 3. 12. 27	群馬県知事	R 4. 1. 20~ R 4. 1. 25	R 4. 2. 2
5	下仁田町長	サイン整備工事 (史跡内)	R 4. 2. 28	R 4. 3. 10	群馬県知事	R 4. 4. 1~ R 5. 3. 31 (予定)	

令和3年度文化財保護法に基づくき損届一覧

※重要文化財は文化財保護法第33条、史跡は同第120条による。

富岡製糸場

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
1	診療所北側	壁の一部剥離	R 3. 8. 17	R 3. 8. 17	R 3. 8. 17	史跡
2	南西側ゲート	モルタルの剥離	R 3. 10. 19	R 3. 10. 19	R 3. 10. 22	史跡
3	揚返工場西側外壁	モルタル及び漆喰の剥離	R 3. 12. 3	R 3. 12. 3	R 3. 12. 6	史跡
4	検査人館2階南西側ガラス窓	突風発生によるガラス4枚破損	R 4. 1. 4	R 4. 1. 4	R 4. 1. 11	史跡・建造物
5	繰糸所北西側ガラス窓	突風発生によるガラス1枚破損	R 4. 2. 21	R 4. 2. 21	R 4. 2. 22	史跡
6	繰糸所南西及び寄宿舎 (榛名寮) 南西	地震発生による瓦のズレ	R 4. 3. 16	R 4. 3. 17	R 4. 3. 18	史跡・建造物

田島弥平旧宅

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
1	主屋	2階北面欄間の一部欠落 2階鴨居の一部脱落	R 3. 9. 14	R 3. 9. 14	R 3. 9. 27	
2	桑場	北面下屋軒瓦の一部欠損	R 3. 11. 1	R 3. 11. 1	R 3. 11. 5	

高山社跡

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
1	敷地内	倒木（紅梅）		R 3 . 4 . 19		
2	敷地内	倒木（白梅）		R 3 . 9 . 5		

荒船風穴

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
		該当なし				

3. 群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の実施状況

群馬県世界遺産協議会は、県及び構成資産の所在する4市町、またオブザーバーとして「田島弥平旧宅」の緩衝地帯がかかっている埼玉県及び本庄市を構成員とし、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を恒久的かつ確実に保存するため、関係者が相互連携を図りながら、包括的保存管理計画に定める基本方針に基づき、統一的な運用を図ることを目的として、平成24年5月に設置された。

また、世界遺産登録後も、顕著な普遍的価値を次世代に確実に継承するにあたり、学術的・専門的な指導助言を得るため、群馬県世界遺産専門委員会が平成27年2月10日に設置されている。

さらに、構成資産が所在する各市町では、世界遺産登録前後から、その価値を将来に継承するための保存修理や活用方法について、有識者による委員会を立ち上げ、議論を重ねてきた。

ここでは、各会議等の実施状況を簡潔にまとめる。

(1) 群馬県世界遺産協議会

令和4年3月24日 第14回群馬県世界遺産協議会

世界遺産の観光振興及び世界遺産協議会の構成員について意見交換

(2) 群馬県世界遺産専門委員会

令和3年10月21日 第10回群馬県世界遺産専門委員会

令和2年度モニタリング調査結果及び遺産影響評価について協議

(3) 富岡市

令和4年2月4日 第21回富岡製糸場保存修理委員会

第12回富岡製糸場整備活用計画実行委員会 合同開催

乾燥場・繭扱場の保存修理工事及び整備活用工事について協議

(4) 伊勢崎市

令和3年11月8日 第21回田島弥平旧宅調査整備委員会

境島村地区の登録有形文化財（建造物）の登録状況、東門整備工事の進捗状況、史跡隣接土地の買い上げ方針及び全体基本設計追加調査について報告

調査報告書について協議

令和3年11月26日 田島弥平旧宅調査整備委員会第1回史料部会

全体基本設計追加調査を実施するにあたり新たに史料部会を設置現在の史料の保管状況について報告

調査方法と史料の分類及び全体基本設計追加調査計画案について協議

- 令和4年2月22日 田島弥平旧宅調査整備委員会第2回史料部会
調査方法等及び今後の調査の進め方について協議
- 令和4年3月29日 田島弥平旧宅調査整備委員会第3回史料部会
今後の調査の進め方について協議

(5) 藤岡市

- 令和3年6月24日 第1回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
石垣修復工事について報告
高山社跡周辺での開発の状況及び母屋兼蚕室の復原方針について協議
- 令和3年11月12日 第2回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
母屋兼蚕室修復工事の進捗について報告
石垣の状況及び母屋兼蚕室の復原方針について協議

(6) 下仁田町

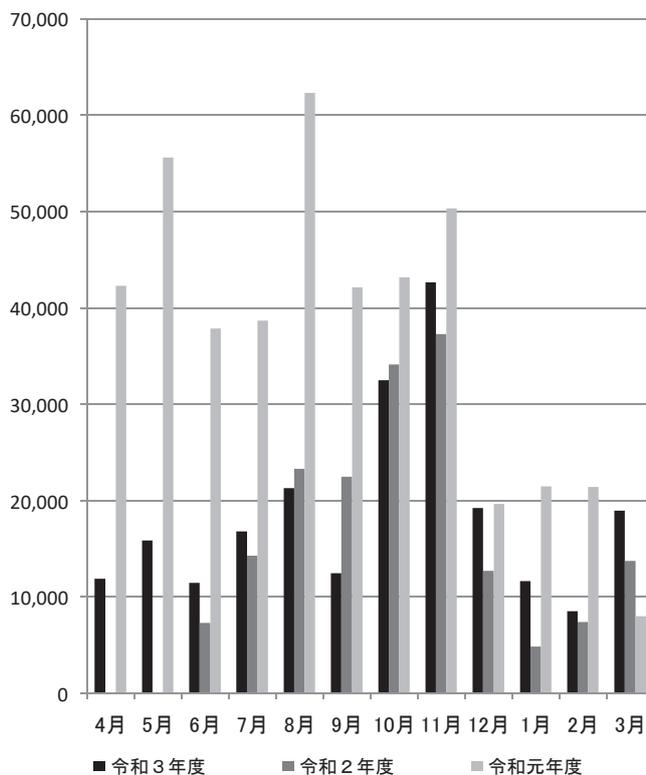
- 令和3年8月27日(書面) 第1回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会
令和3年度事業の進捗について報告
番舎遺構ゾーンの池の補修方法について協議
- 令和4年2月14日(書面) 第2回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会
令和3年度事業について報告
落石対策実施設計及びサイン実施設計について協議

4. 各構成資産への来訪者数の推移

富岡製糸場

単位：人

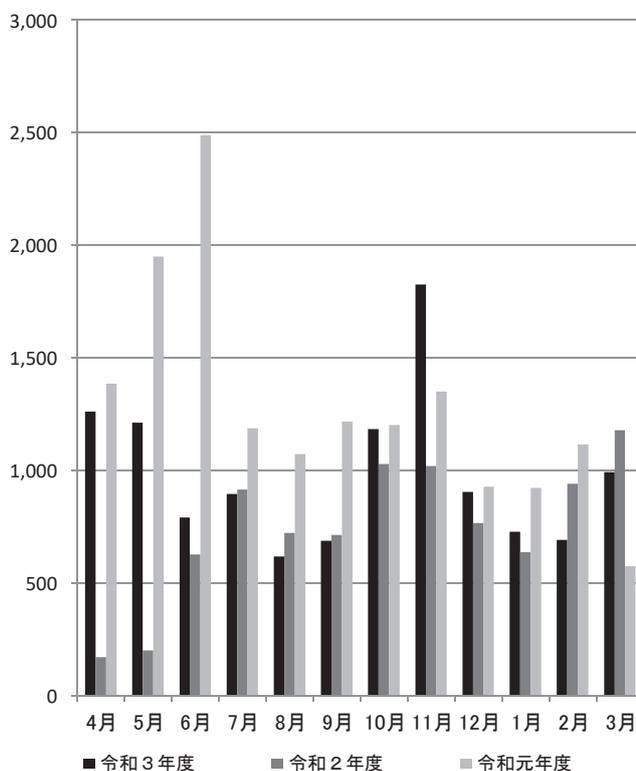
令和3年度		令和2年度		令和元年度	
4月	11,873	4月	0	4月	42,283
5月	15,846	5月	0	5月	55,585
6月	11,447	6月	7,287	6月	37,841
7月	16,792	7月	14,273	7月	38,656
8月	21,289	8月	23,302	8月	62,308
9月	12,470	9月	22,476	9月	42,140
10月	32,473	10月	34,131	10月	43,152
11月	42,640	11月	37,270	11月	50,330
12月	19,238	12月	12,688	12月	19,661
1月	11,645	1月	4,854	1月	21,463
2月	8,529	2月	7,399	2月	21,422
3月	18,936	3月	13,739	3月	7,999
合計	223,178	合計	177,419	合計	442,840



田島弥平旧宅

単位：人

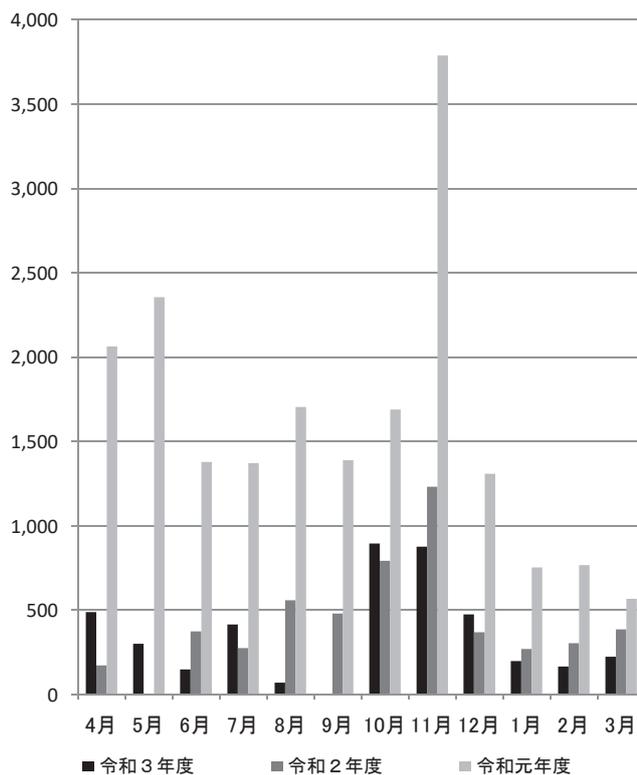
令和3年度		令和2年度		令和元年度	
4月	1,261	4月	171	4月	1,384
5月	1,211	5月	201	5月	1,948
6月	791	6月	627	6月	2,486
7月	895	7月	914	7月	1,187
8月	618	8月	722	8月	1,072
9月	687	9月	713	9月	1,217
10月	1,183	10月	1,028	10月	1,201
11月	1,825	11月	1,019	11月	1,350
12月	904	12月	766	12月	928
1月	728	1月	637	1月	922
2月	691	2月	940	2月	1,114
3月	992	3月	1,178	3月	575
合計	11,786	合計	8,916	合計	15,384



高山社跡

単位：人

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
4月	487	4月	171	4月	2,061
5月	298	5月	0	5月	2,353
6月	146	6月	371	6月	1,377
7月	412	7月	272	7月	1,370
8月	67	8月	557	8月	1,703
9月	0	9月	477	9月	1,387
10月	893	10月	790	10月	1,688
11月	874	11月	1,229	11月	3,786
12月	472	12月	366	12月	1,307
1月	195	1月	267	1月	751
2月	164	2月	301	2月	765
3月	222	3月	383	3月	564
合計	4,230	合計	5,184	合計	19,112

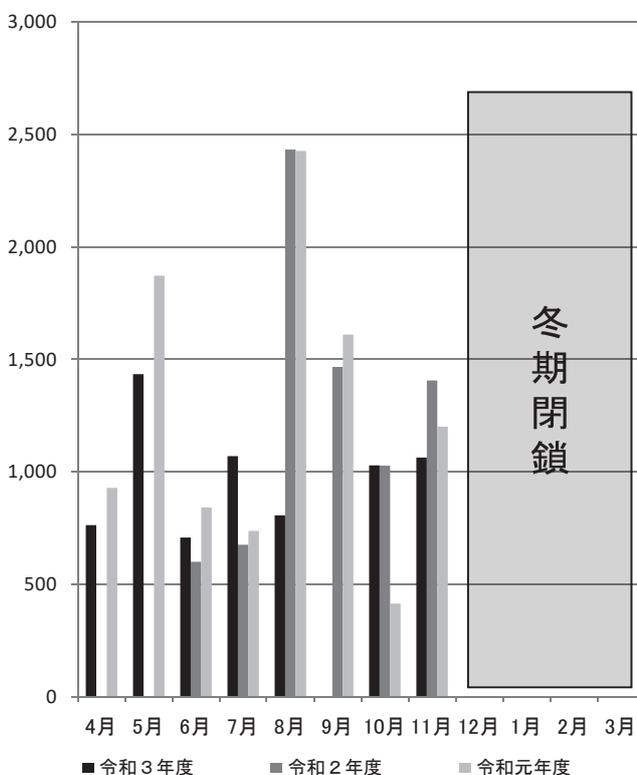


※令和3年5月8日から6月20日、8月5日から9月30日まで新型コロナウイルス感染症対策のため休館した。

荒船風穴

単位：人

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
4月	763	4月	0	4月	929
5月	1,434	5月	0	5月	1,873
6月	708	6月	600	6月	841
7月	1,070	7月	675	7月	737
8月	807	8月	2,434	8月	2,427
9月	0	9月	1,467	9月	1,611
10月	1,029	10月	1,027	10月	413
11月	1,063	11月	1,406	11月	1,201
12月		12月		12月	
1月		1月		1月	
2月		2月		2月	
3月		3月		3月	
合計	6,874	合計	7,609	合計	10,032



※12月～3月は冬期閉鎖

※令和3年8月20日から9月30日まで新型コロナウイルス感染症対策のため見学を中止した。

5. 周辺整備の状況

世界遺産登録を機に、資産そのものの整備のみならず、緩衝地帯内では見学者のアクセスや利便性向上のための整備や修景等が並行して行われている。

(1) 富岡製糸場

富岡製糸場と上州富岡駅の間に位置する旧富岡倉庫2号倉庫は、大正12年頃建築された建物で、令和4年4月に飲食物販店及び伝統文化体験施設「Merci Cocon & Café（メルシー・ココンアンドカフェ）」としてオープンするため、改修工事を行った。

令和3年度は主に建物の耐震補強や電気及び機械設備工事やWi-Fi整備を行った。



(2) 田島弥平旧宅

資産周辺の蚕種製造民家について、群馬県伊勢崎市所在の1件、埼玉県本庄市所在の2件の計3件が国登録有形文化財として新規登録された。

・町田清家住宅主屋（群馬県伊勢崎市所在）

建築年代は、明治20年頃と推定される。昭和30年代末に蚕種製造を止めた後、昭和40年頃土間部分を建て替え、2階の蚕室も改装された。その際に屋根の修理も行われ、総檜は撤去された。正面の見栄えにもっとも留意し、全体的に豪壮な建築を指向する一方で、座敷西面壁に土壁を採用し居室開口に組子欄間を使用するなど繊細さも備えている。部材には、ヒノキ材を主体とし、次にケヤキ材が使われている。ヒノキ材の柱を使用している点については、島村では珍しい例である。



・田島亀夫家住宅主屋（埼玉県本庄市所在）

建築年代は明治2年（1869）頃。桁行12間（約21.8m）・梁行5間（約9.1m）の木造総2階建の背面に下屋が付属しており、屋根は切妻造・棧瓦葺。建物内部には大床や付書院を備えた座敷が構える。同家は、かつて「有隣館」の屋号で蚕種製造業を営んでおり、主屋2階は蚕種製造の場として利用されていた。そのため、屋根の最頂部には養蚕に必要な採光や煙抜きのための、別の棟をもつ小さな屋根をのせた越屋根を3箇所備える。明治初期に建てられた地域最大級の蚕種製造民家で、蚕種製造の様子を知る上で貴重な建物として、歴史的景観に寄与するものである。



・田島亀夫家住宅蚕室（埼玉県本庄市所在）

明治後期に建設された木造2階建蚕室。桁行6間（約10.9m）・梁行3間（約5.5m）の切妻造・棧瓦葺。屋根の最頂部に換気用の越屋根を2箇所備える。建築当初は1階が桑もぎ場と貯桑場、2階が蚕の上簇じょうぞくに用いられたという。



（3）高山社跡

令和元年度に実施した人道橋建設工事をもって予定されていた周辺整備事業は完了しており、令和3年度は整備事業は実施していない。

（4）荒船風穴

宝くじ桜寄贈事業を利用して荒船風穴隣接地と駐車場から荒船風穴までの道沿いにサクラ（シダレザクラ、オオシマザクラ、ヤマザクラ、サトザクラ）を50本植樹した。



植樹の様子

6. 群馬県及び各市町における基金の状況

群馬県及び構成資産が所在する各市町では、主に世界遺産となった資産を将来の世代に引き継ぐための保存修理や周辺整備、活用を目的として基金を設置している。

(1) 群馬県

「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする「ぐんま絹遺産」の継承に資する事業に役立てるため、平成27年10月16日に「世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」を設置した。令和3年度には2,727,770円を受け入れ、1,000,000円を文化財保存事業に、1,095,000円をぐんま絹遺産保存活用総合支援事業に充当した。

令和4年3月31日時点 基金残高 14,704,804円

(2) 富岡製糸場

世界遺産・国宝である富岡製糸場の文化遺産としての価値を適切に保存し、後世に引き継ぐとともに、富岡製糸場の保存活用及びその周辺整備事業の財源に充てるため平成20年9月24日に「富岡製糸場基金」を設置した。令和3年度には、29,680,567円を受け入れ、49,284,000円を富岡製糸場保存整備事業に充当した。

令和4年3月31日時点 基金残高 50,730,435円

なお、令和3年12月から煙突保存修理に係るクラウドファンディングを実施し、28,796,500円を積み立てた。目標金額である80,000,000円に向けて令和4年度も継続予定である。

(3) 田島弥平旧宅

田島弥平旧宅を活用する事業の財源に充てるため、平成26年12月16日に「伊勢崎市田島弥平旧宅活用基金」を設置した。令和3年度には3,786円を受け入れた。

令和4年3月31日時点 基金残高 25,195,233円

(4) 荒船風穴

荒船風穴の保存活用及び今後の周辺整備事業の財源に充てるため、平成26年9月16日に「荒船風穴基金」を設置した。令和3年度には5,975,727円を受け入れ、3,800,000円を文化財調査保護事業に充当した。

令和4年3月31日時点 基金残高 30,993,196円

7. 調査研究事業の実施状況

(1) 調査研究事業

事業名	事業主体	内容
セカイト研究会	群馬県立世界遺産センター	県及び市町村、関係機関の研究担当者が参加する研究会を実施し、4資産や絹産業に関わる調査研究について各種報告及び意見交換を行った。
セカイトアーカイブ	群馬県立世界遺産センター	県内に点在する養蚕や絹文化等に関する資料や書籍等の情報を収集しデータベース化を進めている。
「絹の記憶」聞き取り調査	群馬県立世界遺産センター	世界遺産の構成資産をはじめとする絹遺産を切り口に、絹産業に携わったことのある人たちの証言を記録し、聞き取った証言については動画として公開した。
元従業員ネットワークづくり	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	世界遺産登録の際に、世界遺産委員会から女性労働者の労働環境について調査を進めるよう勧告を受けた。富岡製糸場における労働の記憶を後世に引き継ぐ仕組みをつくる必要があることから、系統だてて聞き取り調査が行えるようなシステムを構築するため、元従業員の方へ「元従業員のネットワーク」への参加を募り連絡名簿を作成した（参加募集は継続中）。
筑波大学松井研究室との共同研究	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	礎石及び煉瓦の劣化防止や建物内の環境調査など、保存科学的観点から、文化財建造物の保存環境について調査研究を行った。
発掘調査等	富岡市教育委員会	富岡製糸場の保存整備等に伴い、保存目的の内容確認調査として発掘調査を行った。調査の結果、乾燥場では前身施設の遺構が検出されたほか、各箇所遺構が検出され、遺産の理解と適切な保護を図るための情報を得た。
田島弥平旧宅史資料調査	伊勢崎市教育委員会	別荘に収蔵されていた蚕種製造道具及び農具等を対象に、道具の清掃、仮台帳への記入、写真撮影を行った。『養蚕新論』に見える道具や母蛾検査用の蛾箱等、田島弥平旧宅での蚕種製造の変遷を知り、今後の整備や活用を行う上で参考となる資料が確認された。
田島弥平旧宅聞き取り調査	伊勢崎市教育委員会	令和2年度に引き続き、5代目田島弥平（邦太郎）の三男にあたる人物から、昭和初期における史跡内の各建造物について聞き取り調査を実施した。新蚕室や香月楼の構造や用途等についての聞き取り内容は今後の調査研究を行う上で役立てていきたい。
定点観測業務	下仁田町教育委員会	（平成26年12月から継続して実施） <ul style="list-style-type: none"> ・トータルステーションによる観測点は6箇所増やして25箇所を実施した。TT14の移動が目立つため引き続き注視が必要である。 ・クラックゲージ（15箇所）は2号風穴と3号風穴の接合部について対応策の検討が必要である。 ・伸縮計（1箇所）は冬季の凍結層膨張による上下動が見られた。 ・温湿度（10箇所）は数箇所計器の異常があった。

(2) 報告書等の刊行

書名	発行機関	発行日	内容
群馬県立世界遺産センター紀要	群馬県立世界遺産センター	R 4 . 3 . 31	<p>「富岡製糸場と絹産業遺産群」における調査研究の成果等についての研究紀要を発刊。第2号として石井寛治名誉顧問、鈴木淳東京大学教授、蚕糸技術センター及び世界遺産センターの職員が執筆した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場における経営のイノベーション ・富岡製糸場における繭乾燥をめぐって ・遺伝子組換えカイコの養蚕農家による飼育 ・群馬県における多糸繰糸機の導入 ・伊勢崎市境島村における歴史的集落の町並みの保全 ―バッファゾーンとその周辺地域を対象として― ・高山社衰退の経緯と要因 ・国内における荒船風穴の位置付け ・群馬県立世界遺産センターにおける調査研究の動向
富岡製糸場総合研究センター報告書	富岡市世界遺産観光部 富岡製糸場総合研究センター	R 4 . 3 . 31	<p>調査研究を行い報告書を発行した。『令和3年度富岡製糸場総合研究センター報告書』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場で活躍した特色ある人々 ・富岡製糸場で使用した燃料について ・日本蚕糸界のエジソンこと御法川直三郎と富岡製糸場について ・富岡製糸場内における社宅のくらし ・富岡製糸場の所管省寮司等の変遷について
史跡高山社跡付属棟・石垣整備報告書	藤岡市教育委員会 文化財保護課	R 3 . 5	<p>焚屋及び外便所保存修復工事、長屋門保存修復工事、石垣修復工事並びにそれらの痕跡調査・発掘調査などを含む総括報告書</p>
荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書 ¹²	下仁田町教育委員会	R 4 . 3 . 31	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業について（池発掘調査、池修理工事、3号はばき落石対策工事、落石対策・サイン実施設計、支障木伐採） ・定点観測の結果 ・環境調査（温湿度）

8. 日本遺産・ぐんま絹遺産

(1) 日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」

平成27年4月に日本遺産に認定された。これは、絹産業に従事した女性の活躍の物語である。桐生市・甘楽町・中之条町・片品村に所在する計13件の構成文化財からストーリーが成り立っている。

令和3年度は、桐生市で普及啓発イベントを実施したほか、県立世界遺産センターのトピックス展示で、甘楽町、中之条町、片品村の構成文化財に係る解説や最新情報の発信を行った（桐生市は令和2年度に実施）。

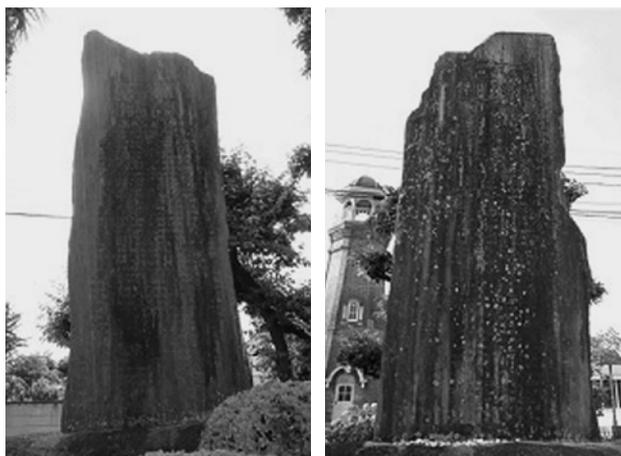
(2) ぐんま絹遺産

群馬県では、県内各地に残る絹に関連する遺産を再評価し、保存活用を図るため、平成23年度から「ぐんま絹遺産」の登録を行っている。絹遺産をネットワーク化することにより、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」と各地に残る絹遺産の連携を推進し、本県の地域振興、観光及び文化的事業の新たな核にしようとするものである。また、今も群馬県に息づく養蚕、製糸、織物などの絹産業を、観光文化産業的な面から再生を図る一助とするものでもある。

令和3年度には新たに1件を追加登録した。これにより、「ぐんま絹遺産」は106件、県内25市町村に所在となった。

令和3年度に追加登録したぐんま絹遺産

	登録番号	登録日	名称	所在地	文化財指定等
1	第03-106号	R 4. 3. 2	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	伊勢崎市	市史跡



第 3 章

普及関連事業の実施状況

1. 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等研究奨励事業「絹ラボ」

世界遺産登録5周年を経て、若者や地元の人々にさらに愛される世界遺産とするため、若手研究者の育成と世界遺産の価値を次世代につなぐことを目的に、「富岡製糸場と絹産業遺産群」等をテーマに広く研究を募集し、その研究費用を助成する事業として令和2年度に引き続き「絹ラボ」を実施した。

2年目となる令和3年度は、県内外から17件の応募があり、審査を行った結果、14件（うち1件は辞退）を採択した。研究成果は、令和4年2月19日に開催した研究成果報告会（コロナ禍のため関係者のみで実施）で発表し、地元紙への掲載や研究成果報告書の発行により、広く県内外へ発信した。

（1）実施主体

シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会

（群馬県、富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町、富岡製糸場世界遺産伝道師協会、上毛新聞社）

（2）対象

- ・学生の部：高校生の団体
 専門学校生、短大生、大学生、大学院生の個人または団体
- ・一般の部：個人または団体

（3）研究内容

- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関する調査研究
- ・日本の生糸が世界に与えた影響に関する調査研究
- ・絹産業における、女性たちの活躍に関する調査研究
- ・国内外の絹文化、絹産業に関する調査研究
- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関連して当地域内における観光、教育、地域振興、景観形成などを対象とした調査研究

（4）奨励金額

1件につき上限20万円

（5）令和3年度助成実績

13件（内訳は次ページのとおり）

○令和3年度「絹ラボ」研究助成対象者

区分	研究者・団体	研究テーマ
学生 (個人)	齊藤きらり (県立女子大学)	なっから「わくわく」プロジェクト
学生 (団体)	富岡実業高校生物生産科草花部	富岡製糸場と周辺関連施設の樹木・草花調査 PART2
	絹文化！お国ことば調査プロジェクト (県立女子大学)	養蚕ことばにおける方言分布と高山社生徒・授業員の動き
	共愛学園前橋国際大学 岡井宏文ゼミ	地域を知り未来を紡ぐ「未来予想マップ」 in 富岡 ～まちへの愛着と未来像の可視化に向けた質的調査研究～
	おエイちゃんプロジェクト (新島学園短期大学)	上信地域の絹産業発展に和田英が果たした役割
	日本大学商学部木下征彦ゼミ	富岡シルクブランドの可能性 ～地域資源である「シルク（絹）の展開に向けた絹産業の研究～
一般 (個人)	笠原 実 (富岡製糸場世界遺産伝道師協会)	徳江製糸所の研究 ～『徳江製糸場繪葉書』を読み解く～
	小金澤孝太	富岡製糸場における尾高惇忠の活躍に関する研究 ～明治の殖産興業を発展させた絹産業の歴史～
	温井 眞一 (よみがえれ！新町紡績所の会)	～殖産興業（生糸直輸出）に捧げた生涯～ 群馬県令・内務省勸業寮権頭・横浜同伸会社社長『河瀬秀治の生涯と業績』
	飯塚 聡 (吉井高校教頭)	群馬県内の蚕種貯蔵風穴の設営状況に関する考察 ～中央の試験教育機関と県内実業者との関係を中心に～
	川又 彩夏 (高崎商科大学職員)	富岡製糸場に勤めた女性たちのライフヒストリー ～昭和期の「あたりまえ」の書き残し～
一般 (団体)	前橋絹文化研究会	前橋の礎・製糸業の記憶
	NPO 法人森の会 (群馬シルク研究会)	群馬シルクと西欧文化の「風」

2. 群馬県及び各市町における普及関連事業

構成資産の所在する4市町においても様々な普及啓発事業が行われた。主な事業は以下のとおりである。

(1) 群馬県

実施日	事業名
令和3年10月1日～令和4年1月25日	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」ガイドスキルアップ事業
令和4年1月29日	第2回セカイト講演会・世界遺産国際ウェビナー「海を渡った日本のシルク～アメリカとの交流～」

(2) 富岡市

実施日	事業名
令和3年4月1日～令和4年3月31日	郷土館常設展示
令和3年7月4日	世界遺産登録7周年記念コンサート
令和3年9月23日～10月24日	パネル展「渋沢栄一と富岡製糸場」
令和3年11月26日～令和4年1月16日	
令和3年10月29日～11月21日	富岡製糸場出土品特別展「富岡製糸場の発掘調査～遺構と遺物から歴史をさぐる～」
令和3年11月1日～令和4年1月31日	秋冬のライトアップ
令和3年11月8日～令和4年3月31日	スマホでチャレンジ！富岡製糸場ARクイズ
令和4年1月14日～23日	市内出土品展
令和4年2月5日	富岡製糸場 立春コンサート ～富岡製糸場に因んだ音楽物語～

(3) 伊勢崎市

実施日	事業名
毎月1回第3日曜日	田島弥平旧宅主屋1階上段の間の特別公開

(4) 藤岡市

実施日	事業名
令和3年3月26日～5月15日	藤岡歴史館春季企画展「ふじおかのくらし昔の道具」

(5) 下仁田町

実施日	事業名
	該当なし

3. 主な民間の活動

(1) 富岡製糸場と絹産業遺産群全体

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
各種普及広報活動	富岡製糸場世界遺産伝道師協会	通年 (のべ42回)	学校キャラバン(小中学校での解説及び体験活動)、イベント等での広報活動、講演会への講師派遣等を実施した。
花壇維持管理	群馬県立富岡実業高校 群馬県立富岡特別支援学校	R 3. 6. 3 R 3. 11. 4	世界遺産センター前の花壇にマリーゴールド、ビオラ等を定植した。
高校生によるまち歩き動画制作	群馬県立富岡高校	R 3. 6 ~ R 3. 8	世界遺産センターのある富岡について、高校生目線による地域の魅力を掘り起こすためのまち歩き動画を制作した。

(2) 富岡製糸場関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
清掃ボランティア	富岡市職員共済会、まちづくり推進協議会、鉄道OB会富岡支部及び市内企業等	第2土曜 第4土曜 第4日曜	場内除草を実施した。
花壇維持管理	群馬県立富岡実業高校	随時	場内の花壇にビオラやサルビアといった季節の花の定植及び維持管理を実施した。
繭玉飾り	甘楽富岡蚕桑研究会	R 4. 1. 8 ~ 1. 16	繭の豊作への願い及び伝統行事の継承として場内に繭玉飾りを設置した。

(3) 田島弥平旧宅関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
田島弥平旧宅及び周辺地域のボランティアガイド	ぐんま島村蚕種の会	R 3. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	主に土日を中心にボランティアガイドとして田島弥平旧宅及び周辺地域の解説対応を行った。

(4) 高山社跡関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
高山社跡解説ボランティア	高山社顕彰会	R 3. 7. 13~12. 14	高山社跡の解説ボランティアが市内の小中学校を対象とした「高山社学」の解説対応を行った。
高山社跡とカイコをめぐる絵	高山社顕彰会	R 3. 10. 16~11. 4	市内の小学生から「高山社跡」や「カイコ」などに係る絵画作品を募集し、優秀な作品については表彰のうえ高山社情報館において展示会を実施した。
「絹のまち藤岡」まち歩きの会	高山社顕彰会	R 3. 10. 30	上州絹市で繁栄した藤岡の絹に関わる歴史について、市内に残された遺構を散歩しながら見学した。
高山社をモチーフとした作品展示会	高山社顕彰会	R 3. 11. 6 ~ 11. 30	市内で活動している「文化協会」や「まゆ花の会」の協力を得て、制作した高山社をモチーフとした様々な芸術作品を高山社情報館において展示した。
座繰り体験教室	高山社顕彰会	①R 3. 10. 29 ②R 3. 11. 1 ③R 3. 11. 15 ④R 3. 11. 22 ⑤R 4. 1. 12	顕彰会会員による座繰りの組立方法や煮繭・糸挽きの方法までの体験教室を実施した。

(5) 荒船風穴関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
荒船風穴清掃作業	荒船風穴友の会	①R 3. 4. 23 ②R 3. 7. 10	荒船風穴見学者広場の除草、清掃を行った。
世界遺産 荒船風穴ウオーク ー蚕種貯蔵路を歩くー	荒船風穴友の会	R 3. 11. 13	令和3年度春秋館跡国史跡指定記念事業として、ウオークイベントを開催し、終了後は希望者を対象に春秋館跡を見学した。
第1回春秋館跡シンポジウム	荒船風穴友の会	R 3. 11. 27	令和3年度春秋館跡国史跡指定記念事業として、シンポジウムを開催し、終了後は希望者を対象に春秋館跡を見学した。
荒船風穴安全祈願祭	荒船風穴友の会	R 4. 3. 31	令和4年度の見学再開の前日に、史跡及び見学者の安全を祈願した。

4. 群馬県及び各市町からの発行物一覧、群馬県提供写真利用許諾件数

(1) 群馬県

名 称	発行部数	概 要
令和2年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報	400	令和2年度における富岡製糸場と絹産業遺産群の事業記録等をまとめた冊子
世界遺産センター学校利用ガイド	1,500	小中学校の教職員を対象に、世界遺産センターの利用方法等について紹介するリーフレット
富岡製糸場と絹産業遺産群子ども向けパンフレット	6,000	富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産としての価値等を普及するため子ども向けパンフレット
日本遺産リーフレット	10,000	日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」について紹介するリーフレット
ぐんま絹遺産ガイド	10,000	群馬県内の絹遺産について紹介するガイドマップ

(2) 富岡市

名 称	発行部数	概 要
富岡製糸場見学のしおり（日本語）	100,000	
富岡製糸場たんけん BOOK （小・中学生用見学のしおり）	70,000	
富岡製糸場ガイダンス展示室リーフレット （No.1～4）	78,000	No.1 22,000部 No.2 24,000部 No.3 18,000部 No.4 14,000部

(3) 伊勢崎市

名 称	発行部数	概 要
田島弥平旧宅子ども用パンフレット	17,000	田島弥平旧宅や他の構成資産を紹介する子ども用パンフレット
まっふるいせさき	26,000	伊勢崎市の観光情報を掲載しているパンフレット（冊子内で田島弥平旧宅を紹介）

(4) 藤岡市

名 称	発行部数	概 要
該当なし		

(5) 下仁田町

名 称	発行部数	概 要
荒船風穴リーフレット	12,000	荒船風穴へのアクセスや周辺の観光情報を紹介するリーフレット
案内マップ	10,000	荒船風穴へのアクセスを平日ルートと土日祝日ルートに分けて両面で紹介するマップ
荒船高原 周遊マップ	10,000	長野県佐久市及び北佐久郡の来訪者を対象に荒船風穴と周辺の観光地を紹介するマップ

(6) 群馬県提供写真利用許諾件数

合計27件（県内市町村…3件、県関連団体…1件、県外自治体…2件、民間企業等（※）…21件）

（※）民間企業等の利用目的の主な内訳

広告・広報…5件、書籍・雑誌…6件、学習教材…2件、旅行商品パンフレット…2件、報道…2件、その他…4件

第 4 章

群馬県立世界遺産センターの取組み

1. 群馬県立世界遺産センターの運営

展示室には解説員が常駐し、スポット解説や質問対応を実施。ガイダンス映像と展示見学をセットにした見学プログラムを提供し、団体見学やグループ活動の受け入れを実施した。

(1) 開館日

令和2年6月1日（月）

(2) 来場者数

	入場者数	学校団体数	学校団体人数	備 考
4月	1,219人			
5月	978人			新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館 5/16～6/13
6月	724人	2団体	100人	
7月	1,436人			
8月	1,531人			
9月	1,327人	1団体	48人	
10月	2,785人	10団体	385人	
11月	3,423人	10団体	500人	
12月	1,296人	2団体	45人	
1月	851人			
2月	934人			
3月	1,885人	3団体	56人	
合計	18,389人	28団体	1,134人	

- ・最大来場者数：271人（3月20日）
- ・平均来場者数：60.1人（平日：43.6人 土日祝日：91.3人）

(3) トピックス展示

展示期間	展 示 内 容
1月30日～5月31日	渋沢栄一と世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」
6月1日～8月31日	荒船風穴と春秋館
9月1日～11月23日	中之条・片品・甘楽の日本遺産
11月25日～2月28日	伊勢崎銘仙
3月1日～5月24日	高山社を支えた人物と高山社蚕業学校

(4) 新型コロナウイルス感染症対応

- ・入館時検温及び健康状態申告書の提出
- ・館内の定期消毒実施

- ・同時入場者を最大40人に制限
- ・シアターの座席数を45席から20席に削減

2. 普及活動

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力を伝えるだけでなく、各資産の活性化の一助となるべく、様々な普及活動及び広報を実施した。

(1) 来場、周遊促進事業

実施時期	活 動 内 容	備 考
4月1日～3月31日	作って楽しい世界遺産 ペーパークラフトプレゼント	配布数1,200枚
6月14日～7月13日	オープン1周年記念 ①リピータープレゼント、②ガチャガチャキャンペーン	①58個 ②3,000個
7月17日～11月30日	三大遺産!? デジタルスタンプラリー かなな・かぶら∞ぐるぶらの旅スタンプラリー ※多野藤岡・甘楽富岡振興局等と一部連携	参加者109名 ※1,531名
7月21日～9月30日	日本遺産めぐりスタンプラリー ※桐生市と連携	参加者120名
10月1日～8月31日	とみきぬ検定	参加者219名
10月28日	群馬県民の日プレゼント	配布数159個
2月14日～3月14日	インスタグラム きぬ旅「フォロー&いいね」 Wチャンスキャンペーン	当選者15名
3月1日～3月31日	ぐんま三大梅林スタンプラリー ※高崎行政県税事務所と連携	参加者190名

3. 学校教育連携事業

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力をはじめとした本県における絹遺産の魅力を次世代へ継承するため、各種取り組みを実施した。

(1) 主な活動

学校向け学習プログラム実施	受入校数：28校 延べ1,134人 世界遺産としての価値を伝えるため、ガイダンス映像視聴や質問対応等を実施
学校利用ガイド作成・配布	作成部数：1,500部 県内全小中学校・特別支援学校及び埼玉県熊谷市、本庄市、深谷市、寄居町、美里町、上里町、神川町の全公立小中学校へ配布
職員による出前授業	訪問授業：1校3クラス オンライン授業：1校1クラス
学校キャラバン (富岡製糸場世界遺産伝道師協会への委託事業)	実施校数：21校 (参加人数：延べ1,113人) 県内小中学校に出向き、世界遺産に関する講義や座繰り体験等を実施

(2) その他活動

- ・教育委員会及び教育事務所等への広報、総合教育センター初任研で学習プログラム紹介
- ・県立富岡実業高校の生徒による「繭、桑を使ったフラワーアレンジメント展示」
- ・県立富岡実業高校及び県立富岡特別支援学校の生徒によるセカイト前花壇整備
- ・県立富岡高校の生徒と共同制作による「まち歩き動画」の公開 ※ tsulunos で動画配信

4. 調査研究

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」における調査研究の総合的な拠点となるよう、資産相互の連携や県内外（国内外）の絹遺産との関係性等について、基礎資料を収集・調査するとともに研究を行った。

また、研究紀要の発行や研究会・講演会等の開催により、調査研究成果の公開及び発信を行った。

(1) セカイト研究会

県、4市町（富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町）、県内大学、研究機関の研究者による研究会を実施した。

- ・年3回開催（7月28日、10月11日、3月16日）

(2) セカイトアーカイブ事業

養蚕や絹産業に関わる人々が少なくなっていくなか、貴重な史資料が滅失や散逸する恐れがあるため、養蚕・絹に関する書籍・文書などの情報を収集し、検索可能な形で整理し、公開を前提とするデータベース化事業を昨年度に引き続き実施した。

- ・民間からの情報収集 現地調査1件 調査資料数22点

(3) セカイト講演会・世界遺産国際ウェビナー（第1章2を参照）

開催日：令和4年1月29日（土）

※無観客「湯けむりフォーラム」特別企画として tsulunos で動画配信

講演内容：「海を渡った日本のシルク ～アメリカとの交流～」

松浦利隆（群馬県立女子大学 群馬学センター教授）	生糸はアメリカで何をしたのか
石井寛治（群馬県立世界遺産センター名誉顧問、東京大学名誉教授）	近代日本における蚕糸技術の革新と国際移転
David Wittner（ユータカ大学教授）	日本の生糸とアメリカの絹産業の成り立ち
パネルディスカッション （石井寛治、David Wittner、井上直子（城西大学准教授） ※コーディネーター／松浦利隆）	日本のシルクがアメリカ、そして世界に与えた影響について

(4) セカイトミニ講座 ※セカイト研究員による講座

12月15日	中島秀規	『富岡製糸場と絹産業遺産群』と渋沢栄一
1月19日	春山秀幸	養蚕と人々の願い ～猫たちを通して～
2月2日	今井洋平	繰糸技術の革新 ～座繰器から自動機へ～

(5) 「群馬県立世界遺産センター紀要」の発行

調査研究成果の蓄積及び情報発信のため、研究紀要を作成し発行した。年1回発行。

・第2号(2022) 令和4年3月31日発行 発行部数：300部

※県内外の研究機関等へ配布

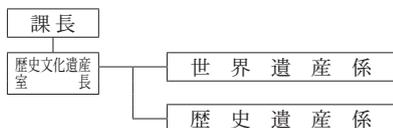
(6) 研究成果の展示内容への反映

世界の中の富岡製糸場の位置付けを展示内容に追加し、展示パネルを改訂した。

県及び各市町の組織・体制（R3.4.1現在）

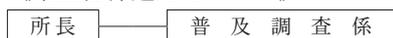
（1）群馬県

《文化振興課歴史文化遺産室》



次長（係長）以下4人（世界遺産の保存整備、世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産の活用及び普及啓発等）

《県立世界遺産センター》



係長以下7人（世界遺産センター運営、普及広報・調査研究）
（内2名富岡市・伊勢崎市から派遣）

《文化財保護課》



係長以下9人（構成資産保存活用に係る指導助言、補助事業に係る事務）
（内世界遺産担当3人）

係長以下7人（世界遺産等の埋蔵文化財調査に係る調整）

（2）富岡市

《富岡製糸場課》



係長以下6人（富岡製糸場の企画・広報、国際戦略、視察・メディア対応等）

係長以下7人（富岡製糸場の維持管理、保存修理、整備活用等）

《富岡製糸場総合研究センター》



係長以下6人（富岡製糸場の調査研究、資料の収集・保管等）

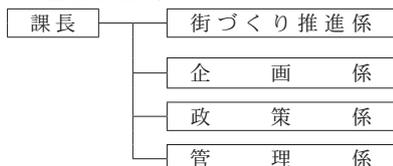
《文化財保護課》



係長以下5人（富岡製糸場保護、発掘調査、現状変更業務等）

（3）伊勢崎市

《企画調整課》



係長以下4人（世界遺産の周辺環境の整備）
（内世界遺産担当2人）

《文化財保護課》



係長以下6人（史跡・建造物の保存整備・調査）
（内世界遺産担当3人）

係長以下6人

（4）藤岡市

《文化財保護課》



係長以下4人（世界遺産の保存整備活用・普及広報・民間団体連携）
会計年度任用職員7名（高山社跡解説員）

（5）下仁田町

《教育課》



係長以下3人（世界遺産担当兼任）（荒船風穴の保存整備活用、普及広報、民間団体連携）
会計年度任用職員5人（内荒船風穴解説員3人）

館長（非常勤）1人（世界遺産担当兼任）

利用案内 (R 4.4.1 現在)

富岡製糸場

- [場所] 富岡市富岡1-1
- [交通] 公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
車／上信越自動車道富岡 I. C. から各市営駐車場まで約10分、有料駐車場から徒歩約10分、無料駐車場から徒歩約20分
- [時間] 9時～17時 (受付は16時30分まで)
- [休日] 12月29日～31日※点検・整備等で臨時休場となる場合があります。
- [料金] 大人1,000円、高校・大学生 (要学生証) 250円、小・中学生150円、(富岡市民は無料)
- [見学ガイド]
定時解説 (約40分) あり
(有料1人1回200円)
- [問合せ先]
富岡製糸場総合案内所
TEL 0274-67-0075
※本書記載事項に関する問い合わせ先
富岡市富岡製糸場課
TEL 0274-64-0005
- [ホームページ]
<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>

田島弥平旧宅

- [場所] 伊勢崎市境島村2243
- [交通] 公共交通機関／JR 高崎線本庄駅からタクシー約20分、東武伊勢崎線境町駅からタクシー約15分、JR 上越新幹線本庄早稲田駅からタクシー約25分
車／関越自動車道本庄児玉 I. C. から駐車場まで約20分、駐車場から徒歩約10分
- [時間] 9時～16時
※個人宅で現在も居住しているため、見学の際はご配慮ください。見学範囲は庭及び桑場1階。その他の建物内部は原則非公開。
※第3日曜日に主屋1階上段の間を公開しています。
- [休日] 12月29日～1月3日
- [料金] 無料
- [見学ガイド]
解説員が常駐 (無料) 団体見学の際は田島弥平旧宅案内所へ要予約
- [問合せ先]
田島弥平旧宅案内所
TEL 0270-61-5924
伊勢崎市教育委員会文化財保護課
TEL 0270-75-6672
- [ホームページ]
<http://www.city.isesaki.lg.jp>

高山社跡

- [場所] 藤岡市高山237
- [交通] 公共交通機関／JR 高崎線新町駅またはJR 八高線群馬藤岡駅からバス約35分、JR 八高線群馬藤岡駅からタクシー約20分 (観光タクシーあり)
車／上信越自動車道藤岡 I. C. から約20分、駐車場から徒歩約5分
- [時間] 9時～17時
(高山社情報館では、高山社に関する資料を展示しているのでご利用ください。)
- [休日] 12月28日～1月4日
- [料金] 大人500円 (高校生以下、藤岡市在住者、障害者の方は無料)
- [見学ガイド]
解説員が常駐 (無料)
- [問合せ先]
高山社情報館
TEL 0274-23-7703
藤岡市教育委員会文化財保護課
TEL 0274-23-5997
- [ホームページ]
<http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

荒船風穴

- [場所] 下仁田町南野牧甲10690-2外
- [交通] 公共交通機関／上信電鉄下仁田駅からタクシー約30分 (観光タクシー)
車／上信越自動車道下仁田 I. C. から約50分、駐車場から徒歩約20分
- [注意] 急勾配な山道のため、動きやすい服装でお越しください。
- [時間] 9時30分～16時 (受付は15時30分まで)
- [休日] 12月～3月は冬季閉鎖
(下仁田町歴史館では、荒船風穴に関する資料を展示しているのでご利用ください。)
- [料金] 大人500円 (高校生以下、下仁田町在住者、障害者の方は無料)
- [見学ガイド]
解説員が常駐 (無料)
- [問合せ先]
下仁田町歴史館
TEL 0274-82-5345
- [ホームページ]
<https://www.town.shimonita.lg.jp/>

利用案内 (R 4.4.1 現在)

群馬県立世界遺産センター

「世界を変える生糸いとの力」研究所

[場所] 富岡市富岡1450-1

[交通] 公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩
1分

車／上信越自動車道富岡 I.C. から富岡駅東
無料駐車場まで約10分、無料駐車場から徒歩
約3分

[時間] 9時～17時

[休日] 3月～11月 毎月最終水曜日

12月～2月 毎週水曜日

12月29日～31日

[見学ガイド]

解説員が常駐 (無料)

[問合せ先]

群馬県立世界遺産センター

TEL 0274-67-7821

[ホームページ]

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

令和3年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

編集・発行 群馬県地域創生部文化振興課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

発行日 令和5年2月

印刷・製本 朝日印刷工業株式会社